

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 実用新案公報(Y2)

(11)実用新案出願公告番号

実公平6-37762

(24) (44)公告日 平成6年(1994)10月5日

(51)Int.Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

A 4 5 D 2/18

請求項の数1(全 3 頁)

(21)出願番号 実願昭63-32566

(22)出願日 昭和63年(1988)3月14日

(65)公開番号 実開平1-138301

(43)公開日 平成1年(1989)9月21日

審判番号 平5-20559

(71)出願人 999999999

株式会社小泉製作所

東京都足立区梅田3丁目26番10号

(72)考案者 河合 勝彦

埼玉県越谷市蒲生茜町35番3号

(72)考案者 中村 孝士

埼玉県与野市下落合5丁目14-24-104

審判の合議体

審判長 唐沢 勇吉

審判官 奥村 忠生

審判官 樋口 靖志

最終頁に続く

(54)【考案の名称】 ヘアーカーラー

1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 重合された2枚の可撓性シートよりなり、該シートのうち一方のシートは、巻回した状態で形状が記憶された形状記憶物質よりなるシート、他方のシートは、網状シート又は不織布シートから夫々構成され、かつ該巻回し方向に対して平行となるシートの両辺が接合され、該接合辺の少なくとも一方が着脱可能に構成されていることを特徴とするヘアーカーラー。

【考案の詳細な説明】

【産業上の利用分野】

本考案は、形状記憶物質よりなるシートを用いた新規なヘアーカーラーに関する。

【従来の技術及び問題点】

従来、ヘアーカーラーはロッド、チューブ等のカーラーと止め具とよりなる構造が一般に知られている。これら

2

のヘアーカーラーを使用した髪の毛のカーリングは、まずカーラーに髪の毛の先端を固定した後、カーラーを回転させて髪を巻きつけ、次いで巻きつけた髪を止め具でカーラーに固定することにより行われる。かかる操作は複雑であり、多数のカーラーを使用する場合には、髪の毛の巻きつけに多大の時間を要していた。

また、金属線を利用して所望の任意の形に髪をカールするために一枚の布地の両端に金属線を定着させた髪カールクリップが提案(実開昭52-132265)されているが、カール形状を形づくるのに手間を要し、またその際、髪がクリップから滑って離脱し易いという問題がある。更に形状記憶合金を利用した一枚の短冊状物の一端に毛髪固定具を付設したヘアーカーラーも提案(実開昭60-83503)されているが、毛髪固定具によって髪が部分的に強く引かれて損傷し易いと共に髪をセットする際に、ヘ

10

アーカーラーを髪をカールする方向に合わせて手で保持しておかなければならないという問題がある。

〔問題点を解決するための手段〕

本考案者は、上記従来技術の問題点に対処して、髪への取り付け、巻きつけ等を容易に行うことのできるヘアカーラーを開発すべく検討を重ねた。その結果、巻回した状態で形状が記憶された形状記憶物質よりなるシートを含む、可撓性を有する種類の異なる特定の2枚のシートを重ね合してヘアカーラーを構成することにより、上記重合されたシート間に髪を挟み該シートに熱風を吹き

つける等の加熱手段を施すだけで容易に髪のカールができることを見出し、本考案を完成するに至った。即ち、本考案は、重合された2枚の可撓性シートよりなり、該シートのうち一方のシートは、巻回した状態で形状が記憶された形状記憶物質よりなるシート、他方のシートは、網状シート又は不織布シートから夫々構成され、かつ該巻回し方向に対して平行となるシートの両辺が接合され、該接合辺の少なくとも一方が着脱可能に構成されていることを特徴とするヘアカーラーである。以下、本考案を図面に従って具体的に説明するが、本考案はこれらの図面に限定されるものではない。

第1図は、本考案のヘアカーラーの代表的な態様を示す概略図である。すなわち、本考案のヘアカーラーは、重合即ち重ね合わされた2枚の可撓性シート1及び2よりなり、該シートの一方は、巻回した状態で形状が記憶された形状記憶物質よりなるシートで構成され、他方のシートは、網状シート又は不織布シートから構成され、かつ該巻回方向Aに対して平行となるシートの両端3及び3'が、少なくとも一方の辺で着脱可能となるように接合されたヘアカーラーである。

本考案のヘアカーラーを構成する2枚の可撓性シートは、そのうちの一方が巻回した状態で形状が記憶された形状記憶物質よりなるシート即ちシート全体が形状記憶物質の素材より形成されるか又は形状記憶物質が内蔵或いは付設されて形状記憶機能を有するシート（以下、形状記憶シートという）である。上記の形状記憶物質は、髪が変質する温度より低い温度、一般には100℃以下、好ましくは40～80℃で、予め記憶された形状に戻り、かつ常温でそのシート状物が可撓性を有するものであれば限定されず、公知のものが特に制限なく使用される。例えば、形状記憶プラスチック、形状記憶性ゴム弾性体、形状記憶合金であつて、上記特性を有するものが一般に使用される。具体的には、形状記憶プラスチックとしては、例えば特開昭59-53528号に示されるようなノルボルネン系ポリマー、特開昭60-28433号に示されるようなガラス転移温度が室温以上の合成付加重合体等が、形状記憶合金としては、Ti-Ni系、Cu-Zn-Sn系、Cu-Zn-Si系、Fe-P系、Cu-Zn-Al系等よりなる公知の材質が一般に挙げられる。

また、形状記憶シートの厚みは、加熱時の巻回力及び常

温での加工性を勘案して決定すればよく、一般には0.1～2mm程度が好ましい。

更に、形状記憶シートの巻回時の径及び巻回数は、シートの大きさ、目的とするカールの大きさ等に応じて適宜決定すればよい。

網状シート又は不織布シートとしては、前記の形状記憶シートの動作に対して抵抗が少ない材質及び厚みを有するものが好適に使用される。例えば、材質は、ポリプロピレン、軟質塩化ビニル樹脂、ナイロン、プラスチック10 スが好適である。また、厚みは0.05～2mm、特に0.1～1mm程度が好ましい。

本考案において、重合された可撓性シートの形状は特に制限されないが、第1図に示すような長方形あるいはこれに類似した形状が一般的である。

本考案において、一方が形状記憶シートよりなる、重合された2枚の可撓性シート1及び2は、該形状記憶シートの巻回方向Aに対して平行となる両辺3及び3'を接合することが、上記可撓性シート1及び2間に髪を挟んだ状態で巻回するために必要である。また、該両辺のうち少なくとも一方は、着脱可能となるように接合することが、可撓性シート1及び2間に髪を挟み易くするために必要である。着脱可能に接合する手段は、2つの面を着脱可能に接合するための公知の手段が特に制限なく採用される。例えば、貼り合せフアスナー、プラスチック磁石、粘着テープ等の着脱接合具4を対にして少なくとも一辺に設ければよい。上記着脱接合具は全辺に連続的に設けてもよいし部分的に設けてもよい。また着脱可能としない接合手段としては、例えば接着、融着等の手段が一般的に採用される。

〔作用・効果〕

本考案のヘアカーラーは、重合された2枚の可撓性シート1及び2を平らに伸ばした状態で、着脱接合具4を開いてシートを開き、該シート間に髪を挟んだ後、再び該着脱接合具4を閉じることによつて容易に髪に取り付けることができる。そして、上記可撓性シートにドライヤー等で熱風を吹き付けて加熱することによつて、可撓性シート1及び2のうちの形状記憶シートが巻回し、これにより第2図に示すように、可撓性シート1及び2間に挟まれた状態で髪5がカールされる。

また、本考案のヘアカーラーを髪から取り外すには、該ヘアカーラーは可撓性を有しているので、巻きを伸ばした後、着脱接合具4を開くことによつて行うことができる。

以上の説明より理解されるように、本考案のヘアカーラーは、従来のロッド、チューブ等のカーラーに比べて操作が容易であり、効率よく髪のカールを行うことができる。即ち、本考案は、髪を部分的に固定する特別の止め具を使用せず網状シート又は不織布シートと形状記憶シート1の両シート間に髪を挟んで温風等により形状記憶シートに予め記憶された巻回しの形状にして網状シート

5

又は不織布シートの摩擦力を利用して髪を固定するために、止め具で固定するよりも固定に手間を要しないばかりでなく、髪が滑って離脱することもなく、更に髪にやさしく止め具を使用した場合にみられる髪が部分的に強く引かれて損傷するといった問題も存しない。また止め具使用の場合、短い髪は固定し難いという問題があつたが、本考案は、髪の長短にかかわらず容易に固定することができるため形状記憶シートの利用と相俟って効率よ*

6

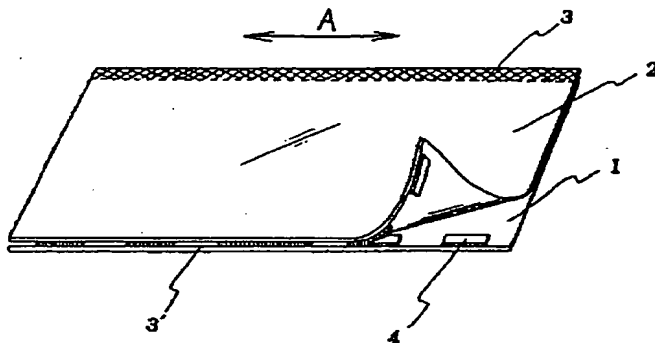
*く髪のカールを行うことができる。

【図面の簡単な説明】

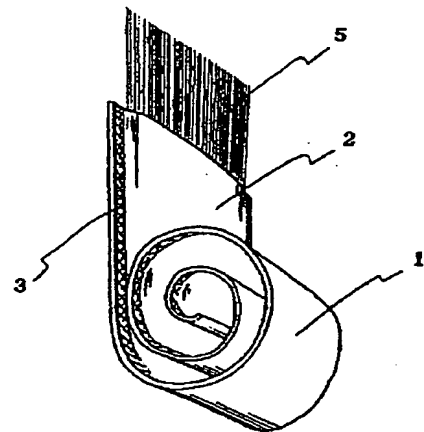
第1図は本考案のヘアーカーラーの代表的な態様を示す概略図であり、第2図はその使用状態を示す概略図である。

図において、1及び2は可撓性シート、3及び3'は可撓性シートの辺、4は着脱接合具、5は髪を夫々示す。

【第1図】



【第2図】



フロントページの続き

(56)参考文献 実願 昭51-40508号(実開 昭52-132265号)の願書に添付した明細書及び図面の内容を撮影したマイクロフィルム(J P, U)

実願 昭60-180118号(実開 昭61-188501号)の願書に添付した明細書及び図面の内容を撮影したマイクロフィルム(J P, U)

This Page Blank (uspto)